

ACD See

ユーザーズマニュアル

目次

はじめに	7
商標について	7
著作権について	7
ご購入についてのお問い合わせ先	8
本製品についてのお問い合わせ先	8
第1章 ご使用の前に	9
本製品の特徴	9
一覧表示による優れた画像管理アルバム機能	9
個別にイメージを表示するイメージビューア機能	9
TWAIN ドライバに対応	10
プラグインによる画像フォーマットの追加	10
ZIP/LHA 圧縮ファイル表示に対応	10
ACDSee の動作環境	11
動作環境	11
対応 OS	11
CPU	11
ディスプレイアダプタ	11
ハードディスク	11
メモリ	11
機種	11
対応画像フォーマット	11
読み込みサポート	11
書き込みサポート	13
第2章 インストール	14
体験版インストール	14
製品版インストール	17
アンインストール	20
第3章 画面構成	21
ブラウズウィンドウ	21
ツールバー	22
ステータスバー	22

パスボックス	24
ファイルリスト	25
フォルダツリー	27
お気に入りリスト	28
プレビュー領域	30
イメージ情報領域	31
ビューウィンドウ	32
ツールバー	33
ステータスバー	33
ビュー領域	35
画像補正	36
ツールバー	36
第 4 章 基本操作	37
ACDSee で表示する	37
ACDSee の起動	37
ブラウザモードで起動	37
ビューモードで起動	37
ブラウザモードからビューモードに切り替える	37
ビューモードからブラウザモードに切り替える	37
ファイルのコピー / 移動	38
ファイルのコピー	38
ファイルの移動	39
イメージの印刷	40
ブラウザモードからの印刷	40
ビューモードからの印刷	40
エクスプローラからの印刷	41
ファイルやフォルダの名前変更	42
ブラウザモードでの名前変更	42
ビューモードでの名前変更	42
ファイル削除	43
ファイル説明	44
ファイル説明の設定 / 変更	44
複数ファイルに同じ説明を添付 (ブラウザモードの場合のみ)	45
更新日時の変更	46
壁紙	47
壁紙の設定方法	47

スライドショー	48
スライドショーを実行	48
スライドショーの表示設定	49
フォーマット変換	50
ブラウズモードの場合	50
ビューモードの場合	51
プラグイン	52
イメージ読み込みプラグイン	52
イメージ書き込みプラグイン	52
アーカイブ解凍プラグイン	52
デジタルカメラプラグイン	52
拡張コマンドプラグイン	52
プライン設定	53
プラグイン詳細設定	54
シェルコマンド	55
シェルの実行	55
開くと編集動作の設定と変更	55
ドキュメントファイルの起動	56
ファイルを [開く] と [編集]	56
ファイルタイプに対する [開く] [編集] 動作の設定	56
お気に入りリストの使用	57
ACDSee のカスタマイズ方法	58

第 5 章 ブラウズモードでの操作	59
ファイル操作	59
ファイルやフォルダのコピー	59
ファイルやフォルダの移動	59
ファイルやフォルダのショートカットの作成	60
お気に入りリストにあるアプリケーションでファイルを開く	60
ドラッグ アンド ドロップ特殊機能	60
サムネール	62
サムネールキャッシュ	62
キャッシュに保存されたサムネールの圧縮	62
データベースの断片化の修復と最適化	62
シリーズ名変更	64
ファイルリストの生成	65
イメージ検索	66
検索条件	66

検索範囲	67
検索経過 / 結果	67
パターン	67
ワイルドカード	67
ファイル整列変更	69
列ヘッダーを使用して整列する	69
メニューから整列する	69
コンテキストメニューから整列する	69
ファイルリストの表示 / 非表示	70
コンテキストメニュー	70
メニュー	70
ファイル列の順序変更	71
プレビューを表示する	72
TWAIN 機器からの取込み	73
取込み	73
デジタルカメラサポート	75
カメラ設定	75
カメラのイメージ参照	75
カメラからイメージを転送	75
画像の取得	76
第 6 章 ビューモードの操作	77
イメージシーケンス	77
シーケンスにイメージを追加	77
シーケンスからイメージを削除	77
シーケンスのイメージを整理	78
イメージシーケンスをファイルを保存	78
イメージシーケンスをファイルから再表示	78
イメージシーケンスファイルの編集	78
イメージシーケンスファイルの新規作成	79
ズーム	80
ズームイン	80
ズームアウト	80
普通サイズに戻す	80
ウィンドウ / スクリーンサイズに合わせる。	80
ズーム選択	80
ズームロック	81
ズーム自動拡大 / 縮小	81

パニング/スクローリング	82
マウスを使用	82
キーボードを使用	82
選択領域	83
フォルダと同期化	84
フォルダの同期化	84
フルスクリーンモードでイメージ表示	86
フルスクリーンで表示	86
ビューウィンドウのサイズと位置のコントロール	87
いつも指定のサイズと位置を使用するには	87
デフォルトでフルスクリーンモードから表示	87
第7章 画像補正	88
サイズの変更	88
イメージの回転	88
イメージ反転	89
レベル調整	89
カラー	90
カラーバランス	90
ノイズ除去	90
ソフトフォーカスとシャープ	91
ネガとセピア変換	91
カラー	92
エンボス	92
復帰	93
画像補正後のイメージの保存	93
画像補正の終了	93
付録	94
ツールバーのボタン	95
ブラウズウィンドウ	95
ビューウィンドウ	98
画像補正ウィンドウ	100
ショートカット	102
ブラウズモード	102
ビューモード	107
キーボードショートカット	107
マウスショートカット	111

はじめに

この度は弊社製品をご使用いただき、誠にありがとうございます。
ACDSee v3.0J（以下 ACDSee と呼称）は Microsoft Windows95/
98/NT4.0 用画像管理 / ビューアソフトウェアです。
標準で多くの画像フォーマットに対応しており、独自の画像表示エ
ンジンによる高速な画像表示が可能です。
本ユーザーズマニュアルをよくお読みの上、正しくお使いください。
また、必ず「ReadMe」もご参照ください。「ReadMe」には、ソフ
トウェアのインストール方法やオンラインヘルプで解説されていな
い重要な最新情報が記述されています。

商標について

- ・ ACDSee はカナダ ACD Systems, Ltd の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、WindowsNT、MS-DOS は米国マイクロソ
フトコーポレーションの米国および他の国における登録商標です。
- ・ その他の各会社、各製品は各社の商標または登録商標です。

著作権について

ACDSee v3.0J および関連資料（本マニュアルを含む）の著作権は
ACD Systems, Ltd（カナダ）もしくは新潟キャノテック株式会
社に帰属します。

ご購入についてのお問い合わせ先

〒 950-0916
新潟県新潟市米山 1 丁目 24 番地 新潟駅南センタービル
新潟キヤノテック株式会社 「ACD 製品購入担当」宛
TEL : 025-244-6608 FAX : 025-244-3052
ホームページアドレス : <http://www.acdjapan.com/>
メールアドレス : sales@www.acdjapan.com

本製品についてのお問い合わせ先

〒 950-0916
新潟県新潟市米山 1 丁目 24 番地 新潟駅南センタービル
新潟キヤノテック株式会社 ユーザーサポートセンター
TEL : 025-244-6445 FAX : 025-244-8561
ホームページアドレス : <http://www.acdjapan.com/>
メールアドレス : support@www.acdjapan.com

製品版ユーザーの方のみのサポートとなります。
誠に申し訳ありませんが、体験版ユーザーの方の製品
内容に関するお問い合わせには一切応じておりませんの
であらかじめご了承ください。

第1章 ご使用の前に

本製品の特徴

一覧表示による優れた画像管理アルバム機能

Windows標準ファイラーのエクスプローラと同様のインターフェースで画像の選択、コピー、削除、複製等が簡単に行えます。ファイルのドラッグ&ドロップに対応しています。

開発元ACD社独自の高速画像処理エンジンにより、サムネール付きプレビュー表示が可能です。

多くの画像フォーマットに対応しており、扱う画像の種類を気にせずに表示管理を行えます。

フォーマット変換機能により、使用する用途に応じて画像フォーマットを簡単に変換・運用できます。

コメント機能を備えており、各画像に説明を付加した管理を行えます。また、付加されたコメントは検索対象として利用できます。

表示する位置・大きさ・サムネールの大きさ、表示する情報を自由にカスタマイズできるので、使いやすい表示/インターフェースに変更することができます。

一覧表示と個別ビューア表示をマウスのクリックのみで行えます。画像データ以外のデータやプログラムファイルも表示できるので、ファイラーとして使用することもできます。

ショートカット登録機能で、画像編集等に多用するアプリケーションの一発起動もできます。

音声ファイル(WAVファイル)簡易再生機能を備えています。

画像の一覧印刷や、用紙に合わせて印刷等、多彩な印刷フォームが用意されています。

特定の画像をWindowsの壁紙として設定できる壁紙変換機能を備えています。

個別にイメージを表示するイメージビューア機能

一覧表示の画像ファイルを直接ダブルクリックするだけで選択画像のプレビュー表示ができます。再度ダブルクリックすると一覧表示に戻ります。

指定した間隔で対象フォルダの画像を連続表示するスライドショー表示ができます。タイトルバーを非表示にした画面全体の表示にも対応しています。

プレビュー表示サイズ・位置等のカスタマイズが可能です。
画像の拡大／縮小／回転表示機能を備えています。

TWAIN ドライバに対応

Canon、EPSON等の各社日本語TWAINドライバに対応しており、スキャナから直接ACDSee経由で画像の取り込みが可能です。

プラグインによる画像フォーマットの追加

対応画像フォーマットはPlug-In化されており、使用するフォーマットのモジュールのみを選択して使用できます。

Plug-InモジュールのみをACDSeeのアプリケーションフォルダにコピーするだけで、対応画像フォーマットの追加が可能です。

SusieのPlug-Inモジュールと下位互換性があり、Susie用に配付されている数多くの画像フォーマットPlug-Inを使用できます。

(注意：Susieの全てのPlug-Inの動作を保証するものではありません。)

ZIP/LHA 圧縮ファイル表示に対応

ZIPやLHAで圧縮された画像ファイルを解凍しなくてもプレビューできます。特に、NiftyServeやインターネット、Eメールで配付するような画像ファイルの整理に最適です。

ACDSeeの動作環境

動作環境

対応 OS

Microsoft Windows95 日本語版
Microsoft Windows98 日本語版
Microsoft WindowsNT4.0 日本語版

CPU

Intel 486DX 以上

ディスプレイアダプタ

256色以上をサポートしていること

ハードディスク

4MB以上の空き容量が必要

メモリ

32MB以上を推奨

機種

上記 OS が正常に動作する NEC PC-98 シリーズ、IBM PC およびその 100% 互換機

対応画像フォーマット

読み込みサポート

イメージフォーマット

ANI アニメーションカーソルを表示。
BMP WindowsおよびOS/2。2/8/16/24/32bpp。RELおよび非圧縮。
CUR Windows カーソルファイル
DCX すべてのサブタイプとマルチページをサポート
EMF Win32 拡張メタファイル。

EPS	組み込みサムネールのみ表示。
FPX	マルチ解像度サポート。
GIF	シングルページとアニメーション。87a と 89a。
ICO	マルチ解像度をページ単位で表示。
IFF	1-24bpp(HAMとHAM8を含む)、マルチページとアニメーションはサポートされません。
JPG	JFIF および Adobe CMYK。
KDC	フルイメージとサムネールを読み込み可能。
MAG	すべてのサブタイプをサポート。
PBM	Portable Bitmap
PCD	3072x2048 の解像度 (16BASE) まで対応。
PCX	すべてのサブタイプをサポート。
PGM	Portable Graymap
PIC	すべてのサブタイプをサポート。
PCT	Macintosh Pict
PIX	24 bpp.
PNG	すべてのサブタイプをサポート。
PPM	Portable pixmap
PSD	RGB、グレースケール、ダブルトーン、インデックスカラー、モノクロ2階調。
RAS	Sun ラスタファイル。
SGI	8-32 bpp でカラーマップなし。RLE または非圧縮。
TGA	すべてのサブタイプをサポート。
TIFF	1 サンプルにつき 1/2/4/8/12/16bits、1 ピクセルにつき 1-4 サンプル。 Belevel/RGB/Paletted/CMYK/YcrCb/LPGL/LOGLUV。非圧縮 /PackBits/LZW/ThunderScan/SGILog/CCITT/ZIP/ NEXT/New-JPEG (v6.0 JPEG はサポートされません。) マルチページドキュメントをサポート。
WMF	Win3.x 拡張メタファイル
XBM	X bitmap
XPM	X pixmap

ビデオ / サウンド ・ ミュージックフォーマット

AVI	サムネールを解凍し、MCI を使用してプレビュー領域で再生。
MID	MCI を使用してプレビュー領域で再生。
MOV	MCI を使用してプレビュー領域で再生。
MP3	MCI を使用してプレビュー領域で再生。
MPEG	サムネール (MPEG-1) を解凍し、MCI を使用してプレビュー領域で再生。
WAV	MCI を使用してプレビュー領域で再生。

アーカイブフォーマット

LHA Lhd, lz4, lh0, lh1, lh4, lh5, lh6, lh7

ZIP Store, Deflate

書き込みサポート

BMP Windows 1/8/24 bpp

GIF ノンインターレス GIF89a のみ対応。

JPEG 8、24bpp。プログレッシブとノーマル。圧縮率、サブサンプリング、スムージング、ホフマンコード最適化を調整可能。

PCX 8、24bpp。RLE 圧縮。

PNG 1/4/8bpp カラービット。24bpp RGB。

TGA 8、24bpp。RLE 圧縮、非圧縮。トップダウン、ボトムアップ。

TIFF 1 ピクセルにつき 1/8/24bits、シングルページ。非圧縮、CCITT3、CCITT4、LZW、デフレート(ZIP)、JPEG 圧縮。DPI 調整可能。

その他フォーマットに関してはプラグインで対応予定

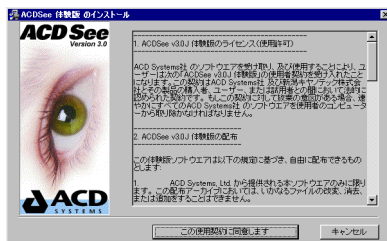
第2章 インストール

体験版インストール

1. "ACDC300JT.EXE" アイコンをダブルクリックで選択します。
2. インストール開始画面が表示されたら [次へ] ボタンをクリックします。



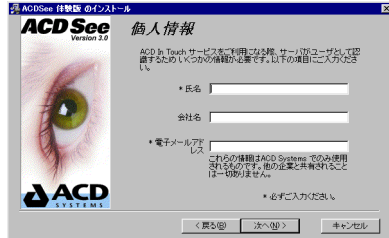
3. 表示される使用許諾に関する契約文をよくお読みください。同意する場合は [この使用契約に同意します] をクリックします。同意できない場合は [キャンセル] をクリックすると、インストールを中止します。



4. 次に表示される「試用同意書」さらに「ACD In Touch サービス」画面の内容をよく読み [次へ] をクリックします。



5. 個人情報画面が表示されるので必要事項を入力し [次へ] をクリックします。
氏名(5文字以上) 電子メールアドレスは入力必須項目です。



6. 「インストールのディレクトリ設定」画面が表示されます。通常はハードディスクドライブの ProgramFiles にインストールされます。インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックし、任意の場所を指定し、[次へ] をクリックします。



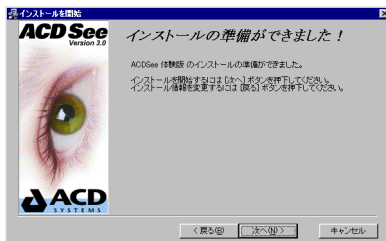
7. 「デジタルカメラ対応」画面が表示されます。使用するデジタルカメラをチェックし、[次へ] をクリックします。



8. ショートカット配置の設定画面が表示されます。ショートカットを配置する場所をチェックし、[次へ]をクリックします。



9. インストールの準備ができたなら [次へ] をクリックします。



10. 表示される「ファイル関連付け設定」ダイアログで「画像ファイルタイプ」の一覧から使用する画像フォーマットにチェックを入れます。その他のフォーマットにも関連付けを行う場合は、「その他」欄に設定を入力し、チェックを入れます。

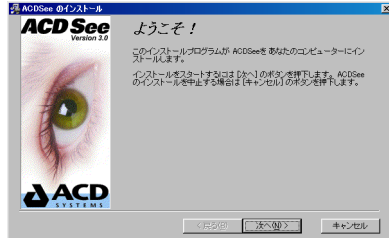


「エクスプローラ コンテキストメニュー」から表示したいコマンドを選択し、[OK] をクリックします。インストールを開始します。

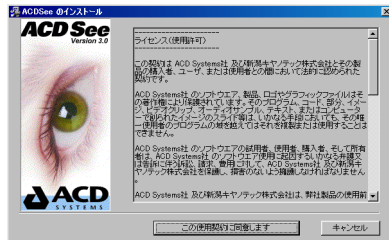
11. インストールが終了したら [終了] をクリックします。

製品版インストール

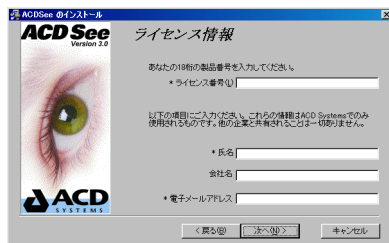
1. "ACDC300JS.EXE" アイコンをダブルクリックで選択します。
2. インストール開始画面が表示されたら [次へ] ボタンをクリックします。



3. 表示される使用許諾に関する契約文をよくお読みください。同意する場合は [この使用契約に同意します] をクリックします。同意できない場合は [キャンセル] をクリックすると、インストールを中止します。



4. 「ライセンス情報」画面が表示されるので必要事項を入力し [次へ] をクリックします。ライセンス番号、氏名(5文字以上)、電子メールアドレスは入力必須項目です。



- 「インストールのディレクトリ設定」画面が表示されます。通常はハードディスクドライブの ProgramFiles にインストールされます。インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックし、任意の場所を指定し、[次へ] をクリックします。



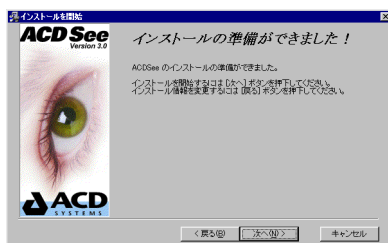
- 「デジタルカメラ対応」画面が表示されます。使用するデジタルカメラをチェックし、[次へ] をクリックします。



- 「ショートカット配置の設定」画面が表示されます。ショートカットを配置する場所をチェックし、[次へ] をクリックします。



- インストールの準備ができたら [次へ] をクリックします。



- 9 表示される「ファイル関連付け設定」ダイアログで「画像ファイルタイプ」の一覧から使用する画像フォーマットにチェックを入れます。その他のフォーマットにも関連付けを行う場合は、「その他」欄に設定を入力し、チェックを入れます。



「エクスプローラ コンテキストメニュー」から表示したいコマンドを選択し、[OK]をクリックします。インストールを開始します。

10. インストールが終了したら [終了] をクリックします。

アンインストール

ACDSee を削除するには、アンインストールプログラムを起動します。

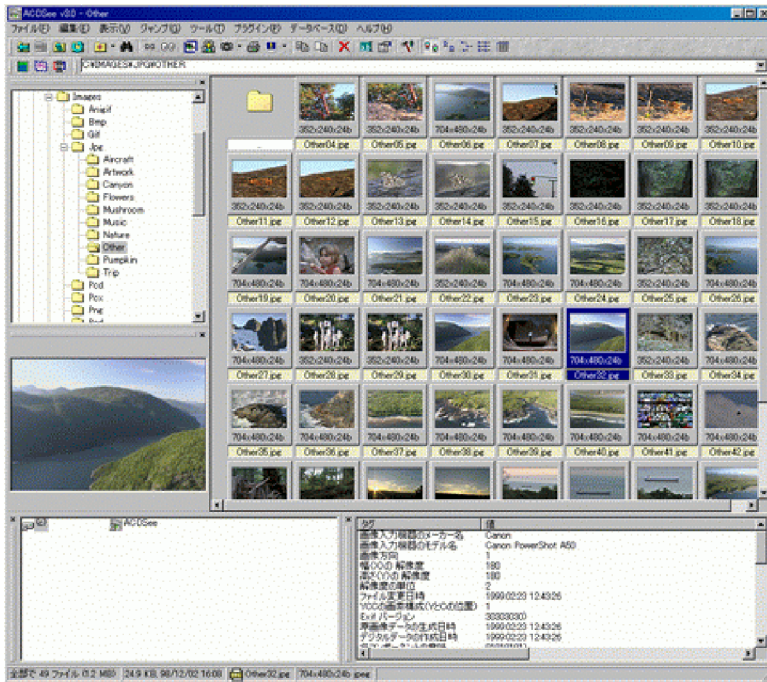
1. [スタート] ボタンから [設定 | コントロールパネル] を開きます。
2. 「アプリケーションの追加と削除」を起動します。
3. 「アプリケーション一覧」から ACDSee を選択します。
4. [追加と削除] をクリックします。
5. 「削除確認」の画面が表示されるので、ACDSee を削除する場合は [はい] をクリックします。

第3章 画面構成

ブラウズウィンドウ

ACDSeeのイメージブラウザは多くのエクスプローラの機能を提供します。ファイルを管理するのに加えて、イメージファイルに対してコマンドを実行できます。

このブラウズウィンドウが表示されている時を「ブラウズモード」と呼びます。



ツールバー

ACDSee の様々な機能を簡単に呼び出すアイコン群を表示します。



各アイコンは様々なコマンドを実行するボタンになっています。実行する機能に合わせてボタンをクリックします。各ボタンのコマンドは「付録 ツールバーのボタン」をご覧ください。

ボタンの上にマウスポインタを合わせると、そのボタンの機能説明が表示されます。

ツールバー上でマウスを右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。このコンテキストメニューからツールバーを非表示に設定することができます。

[表示]メニューから[コントロール | ツールバー]を選択しても、ツールバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。

ステータスバー

選択されたイメージのステータス情報や選択されたファイルのプロパティを表示します。



(左から)

フォルダ概要情報

ファイルリストに表示されているファイルの合計数とサイズを表示します。

選択ファイル情報

- ・ 1 ファイル選択の場合
 - ファイル：最終更新時のサイズと日時
 - フォルダ：最終更新時の日時
 - ドライブ：ドライブの空き容量と全容量
- ・ 複数選択の場合
 - 選択されたファイルの合計数とサイズ

ファイル名とアイコン

現在選択されている項目の名前とアイコンが表示されます。

項目がショートカットである場合、ショートカットのターゲットのファイル情報が表示されます。

イメージプロパティ

現在選択されている項目がイメージである場合、次のように大きさとフォーマットが表示されます。

< 幅 > × < 高さ > × < カラー # > < フォーマット >

ファイル説明

現在選択されている項目に説明がある場合、それを表示します。

処理経過

ACDSeeがバックグラウンドで情報を処理中(イメージヘッダーの読み込みやサムネールの読み込みなど) その進行状況をパーセンテージで表示します。



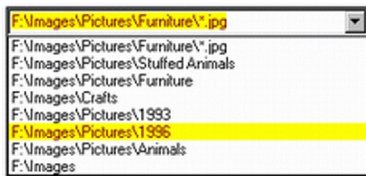
POINT

- ・ステータスバーをマウスの右ボタンでクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
- ・ステータスバーをダブルクリックすると、バックグラウンド処理の開始/停止を指定できます。
- ・[表示]メニューから[コントロール | ステータスバー]をクリックし、ステータスバーの表示/非表示を指定できます。



パスボックス

ブラウザするフォルダを指定します。
また、パスボックスは、最近使用したフォルダをドロップダウンリストとして持つため、そのリストからフォルダを選択することもできます。



指定のフォルダをブラウザするには、そのフォルダのパスを入力し、<Enter> キーを押します。

パスにファイル名フィルターを追加すると、指定のフォルダに一致するファイルだけを表示できます。

例： C:\¥Images¥Fish.*

<F4>キーを押すと、ドロップダウンリストを開いたり閉じたりできます。

< >キーや< >キーを押すと、ドロップダウンせずにリストから項目を選択できます。フォルダ選択後、<Enter> キーを押すとそのフォルダに移動します。

POINT

- ・<Esc> キーを押すと、いつでもパスの選択処理をキャンセルでき、現行のパスに戻ることができます。
- ・パスボックスが右ボタンでクリックされると、コンテキストメニューが表示されます。
- ・[表示]メニューから[コントロール | パスボックス]をクリックし、パスボックスの表示/非表示を指定できます。
- ・ツールメニューの[オプション] ブラウズウィンドウタブにある「最後に使用したフォルダから始める」オプションを使用すると、次にACDSeeを起動した時に同じフォルダからブラウザすることができます。






ファイルリスト

ファイルリストは現在ブラウズされているフォルダのブラウズ情報を表示します。

名前	サイズ	イメージプロパティ	備考
Other04.jpg	27 KB	352x240x24b jpeg	新
Other05.jpg	25 KB	352x240x24b jpeg	岩
Other06.jpg	18 KB	704x480x24b jpeg	上
Other07.jpg	13 KB	352x240x24b jpeg	山
Other08.jpg	23 KB	352x240x24b jpeg	野原
Other09.jpg	23 KB	352x240x24b jpeg	野原2
Other10.jpg	18 KB	352x240x24b jpeg	蝶
Other11.jpg	15 KB	352x240x24b jpeg	蝶2
Other12.jpg	16 KB	352x240x24b jpeg	蝶3
Other13.jpg	13 KB	352x240x24b jpeg	
Other14.jpg	10 KB	352x240x24b jpeg	
Other15.jpg	7 KB	352x240x24b jpeg	

表示方法

ファイルの表示方法を変更するにはツールバーからいずれかのアイコンを選択します。

-  サムネイルでイメージファイルを表示
-  大きいアイコンでファイルを表示
-  小さいアイコンでファイルを表示
-  小さいアイコン列でファイルを表示
-  小さいアイコンで詳細にファイルを表示

詳細表示では、ファイル情報は1つのファイルにつき1行のレポートフォーマットで表示されます。

列の表示 / 非表示 (詳細表示の場合)

ファイルリストのトップにある列ヘッダー領域を右クリックするとそれぞれの列の表示 / 非表示を設定するコンテキストメニューが表示されます。

列順序の変更 (詳細表示の場合)

列ヘッダーをマウスの左ボタンで好きな場所にドラッグします。列を挿入する場合は、色のついた垂直ラインで示されます。列の設定は自動的に保存されます。

整列

ファイルリストの項目の整列方法を下記のように変更できます。設定された整列方法は保存され、変更されない限りそのままです。

- ・列ヘッダー（詳細表示の場合）
詳細表示では、ファイルリスト上部の対応するヘッダーボタンをクリックすることで、特定の列でファイルを並べ替えできます。同じ列をくり返しクリックすると、昇順 / 降順が交互に切り替わります。
並べ替えされている列の横には "+ "または "- "が表示されます。
- ・メニュー
表示メニューのアイコンの整列から整列方法を選択します。
- ・コンテキストメニュー
コンテキストメニューを表示するには、ファイルリストのバックグラウンドでマウスの右ボタンをクリックします。そこから「アイコンの整列」で整列方法を選択します。
- ・ショートカットキー
ファイル拡張子、ファイル名、サイズ、タイプ、日付、イメージプロパティ、備考によって整列するには、数値キー<1> ~ <6>までのいずれかのキー(<NumLock>をオンにする必要があります。)を押します。整列方向を設定するには数値キーの< + >または< - >キーを押します。

ファイル選択

- ・1 ファイルを選択
ファイルを選択するには、マウスの左ボタンでクリックするか、または矢印キーを使ってそのファイルを選択します。
- ・複数ファイルを選択
複数のファイルを選択する場合は、1つのファイルをマウスの左クリックで選択後<Ctrl>キーを押しながらその他のファイルをクリックします。
- ・ファイルを範囲を指定して選択
ファイルを範囲で選択する場合は、その範囲内の最初のファイルを選択して、<Shift>キーを押しながら、範囲内の最後のファイルを選択します。
- ・全てのファイルを選択
[編集]メニューの[全てのファイルを選択]を指定します。

オプション

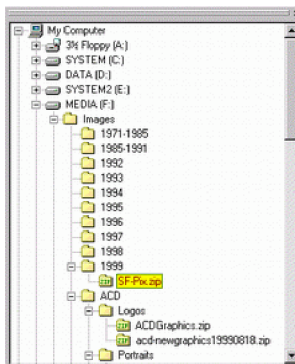
[ツール] メニューの [オプション | ファイルリスト] タブをクリックして、ファイルリストオプションを設定します。

コンテキストメニュー

- ・マウスの右ボタンでファイルリストにある項目をクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。メニューから右ボタンで項目をクリックするとその項目に対するコンテキストメニューを表示することができます。
- ・<Shift>または<Ctrl>キーを押したまま、コンテキストメニューを表示すると、シェルのコンテキストメニューが表示されます。
- ・項目のかわりにファイルリストのバックグラウンドをクリックすると、異なるコンテキストメニューが表示されます。

フォルダツリー

ブラウズウィンドウの左側にあるフォルダツリーは、ファイルシステムのフォルダを階層で表示します。



フォルダツリーにあるフォルダを選択すると、それが現行のフォルダとして指定され、その内容が右のファイルリストに表示されます。

フォルダがサブフォルダを含む場合、フォルダアイコンの隣に “+” が表示されます。“+” をクリックするか、またはそのフォルダを選んで< >キーから数値キーの< + >キーを押すと、サブフォルダを表示します。サブフォルダが表示されているフォルダには “-” が表示されます。

” - ”をクリックするか、フォルダをクリックして< >キーまたは< - >数値キーを押すと、フォルダが閉じて、サブフォルダを隠すことができます。

フォルダを他の場所に移動したり、コピーしたりするにはそのフォルダをドラッグ&ドロップします。

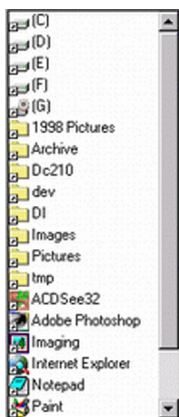
フォルダをマウスの右ボタンでクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。(前述の「コンテキストメニュー」参照) <Shiftm>キーか<Ctrl>キーを押したまましていると、シェルのコンテキストメニューが表示されます。

[表示]メニューの[コントロール | フォルダツリー]でフォルダツリーの表示 / 非表示を指定できます。

[ブラウザウィンドウ]メニューの[フォルダツリー | アーカイブを表示する]オプションで、アーカイブ表示の有効 / 無効を指定できます。

お気に入りリスト

ファイルリストの右または左に表示されるお気に入りリストにより、頻繁にアクセスする項目のショートカットが表示されます。



フォルダ、アーカイブ

次の操作を素早く行うために、フォルダやアーカイブのショートカットを使用できます。

- ・ターゲットのフォルダに移動またはコピーする。
- ・ターゲットのフォルダをブラウザする。
- ・ターゲットのフォルダ内のイメージをスライドショー実行する。
- ・ターゲットフォルダをイメージ検索する。

アプリケーション

次の操作を素早く行うために、アプリケーションのショートカットを使用できます。

- ・ターゲットのアプリケーションを開始する。
- ・ターゲットのアプリケーションでファイルを開く。

ファイル

次の操作を素早く行うために、ファイルのショートカットを使用できます。

- ・デフォルトの関連づけされたアプリケーションを使ってターゲットファイルを開く。

お気に入りリストに項目を追加する

1. ファイルリスト、フォルダツリーまたは、エクスプローラで追加したい項目（複数可）を選択します。
2. 右クリックで表示されるコンテキストメニューから「お気に入りに追加」を選択するか、お気に入りリストの空き領域に、項目をドラッグ&ドロップします。

お気に入りリストの項目を開く

- ・そのショートカットをダブルクリックします。
- ・マウスの右ボタンでそのショートカットをクリックし表示されるコンテキストメニューから「ブラウズ」または「開く」を選びます。

お気に入りリストの項目にファイルをドロップする

1. ファイル（複数可）を選択します。
2. マウスの右ボタンで、お気に入りリストにドラッグし、希望するターゲットの項目上にそれらをドロップします。
3. 「移動」、「コピー」、「送る」または「ショートカット作成」をコンテキストメニューから選択します。



POINT

これらは、項目をマウスの左ボタンでもドラッグでき、その作業（コピー、移動、送る、ショートカット）はマウスカーソルの形によって示されます。

<Ctrl> キーあるいは <Shift> キーを押すと操作が切り替わります。



ショートカットの名前変更

1. ショートカットを選択します。
2. <F2> キーを押すか、右クリックして表示されるコンテキストメニューから [名前の変更] を選択します。

ショートカットの削除

1. ショートカットを選択します。
2. <Delete> キーを押すか、右クリックで表示されるコンテキストメニューから「ショートカットを削除」を選択します。

.....

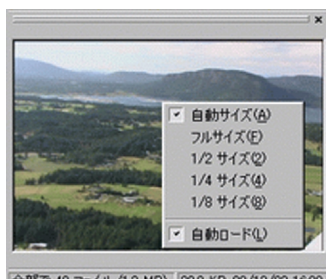
POINT

マウスの右ボタンでフォルダをクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。同時に<Shift>キーまたは<Ctrl>キーを押すと、シェルのコンテキストメニューが表示されます。

.....

プレビュー領域

現在表示されているイメージファイルのプレビューを表示します。



プレビュー領域の上下左右にあるバーをドラッグして、プレビュー領域を拡大縮小することができます。

[表示]メニューの[プレビュー]にあるコマンドを使用して、プレビュー領域の位置や、イメージのサイズを設定できます。数値キーにある<*>を押すと、自動/フルサイズの表示に切り替えることができます。

自動プレビューオプションを指定すると、選ばれたイメージのプレビューが自動的に表示されます。

オプションが指定されていない場合はその都度[表示]メニューの[プレビュー]を指定する必要があります。

プレビューをダブルクリックすると、そのイメージがビューモード(後述)で表示されます。

プレビュー領域または、イメージを右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

イメージ情報領域

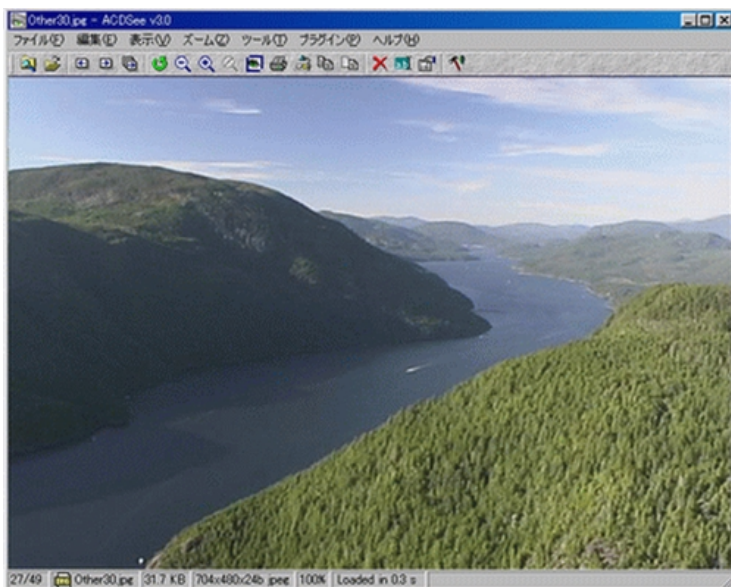
選択されているイメージのメタデータ（EXif 情報のようなイメージファイルが持っているデータ項目）を表示します。



タグ	値
画像入力機器のメーカー名	Canon
画像入力機器のモデル名	Canon PowerShot A50
画像方向	1
幅(OO)の解像度	180
高さ(OO)の解像度	180
解像度の単位	2
ファイル変更日時	1999:02:23 12:43:26
YCCの画像構成(YとCの位置)	1
Exifバージョン	30303030
写真データ生成日時	1999:02:23 12:43:26
デジタルデータの生成日時	1999:02:23 12:43:26
色空間の意味	01010101
画像圧縮モード	3
シャッタースピード	7.96579
絞り値	4
露光値	8.78125
露光補正値	0
レンズ最小F値	2.8
縮写体距離	1.953
測光方式	2
フラッシュ	0
レンズ焦点距離	7.625

ビューウィンドウ

ACDSeeのビューウィンドウは、フル解像度で1枚ずつイメージを表示します。また、ブラウズモードで利用可能なほとんどの機能にアクセスできます。



ツールバー

ACDSee の様々な機能を簡単に呼び出すアイコン群を表示します。



コマンドを実行するには、マウスの右ボタンで対応するボタンをクリックします。

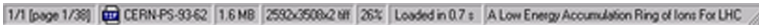
各ボタンの機能説明を取得するには、マウスのカーソルを、ボタンの上に合わせます。

[表示]メニューの[ツールバー]で、ツールバーの表示/非表示を指定できます。

ツールバーは通常フルスクリーンモードで隠されています。ただし、<T>キーを押すことにより一時的に表示できます。<Shift+T>キーを押すと、<T>キーがもう1度押されるまでツールバーは継続して表示されます。

ステータスバー

ビューウィンドウの下にあるステータスバーには、ステータス情報、イメージシーケンス情報(後述)、現行ファイルのプロパティを表示します。



(左から)

イメージシーケンス情報

現行のイメージのシーケンス番号とそのシーケンス内の全イメージ数が「<イメージ #> / <イメージ数>」として表示されます。

ページ番号

マルチページイメージには、現行のページ番号とそのイメージ内の全ページ数が「<ページ #> / <ページ数>」として表示されます。

ファイル名とアイコン

現行のイメージのファイル名と小さいアイコンが表示されます。

ファイルサイズ

イメージファイルのサイズが表示されます。

イメージプロパティ

現行のイメージの大きさとフォーマットが次のように表示されます。

<幅> x <高さ> x <カラー #> <フォーマット>

ズームレベル

現行のズームレベルがパーセント表示されます。

ズームロックがオンの時には、そのズームレベルにアスタリスク [*] が表示されます。

デコーディング過程 / 時間

- ・現行のイメージがデコーディングされている時、その過程がポップアップバーの延び具合で表示され、" ロード中..." と表示されます。
- ・現行イメージのデコーディングが終了すると、デコーディングにかかった時間を表示します。
- ・先読みイメージがデコーディングされている時、その過程がポップアップバーの延び具合で表示されます。

ファイル説明

現行のイメージファイルに説明がある場合、それを表示します。



POINT

- ・[表示]メニューから[コントロール | ステータスバー]をクリックしてステータスバーの表示 / 非表示を指定できます。
- ・ステータスバーは通常フルスクリーンモードで隠されています。ただし、 キーを押すことにより一時的に表示できます。<Shift+B> キーを押すと、 キーがもう1度押されるまでステータスバーは継続して表示されません。



ビュー領域

ビュー領域は現行のイメージを表示するために使われます。

スクローリング

イメージがウィンドウサイズより大きい場合、マウスカーソルが手の平のマークにかかります。

この状態でイメージをドラッグすることによりイメージをスクロール（パン）できます。

カーソルキーでもスクロールすることができます。

（後述のパンニング/スクローリングをご覧ください。）

選択

<Shift> キーを押しながらマウスの左ボタンでドラッグすることにより、イメージの領域を選択することができます。（イメージがスクロール可能でない場合は、<Shift> キーを押す必要はありません。）

マウスの左ボタンで選択領域をクリックするとその領域をズームできます。（後述の選択領域をご覧ください。）

コンテキストメニュー

マウスの右ボタンでビュー領域をクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

<Shift> キーを押してマウスの右ボタンをクリックすると、現行のイメージのシェルコンテキストメニューが表示されます。

第4章 基本操作

ACDSee で表示する

ACDSee の起動

ブラウズするフォルダやアーカイブを右クリックし、表示されるコンテキストメニューから「ACDSeeでブラウズ」を選択します。(この場合、ブラウズモードで表示されます。)


ブラウズモードで起動

ブラウズモードで起動するには、[スタート]ボタンから[プログラム | ACDSee | ACDSee ブラウザ]を選択します。


ビューモードで起動

ビューモードで起動するには[スタート]ボタンから[プログラム | ACDSee | ACDSee ビューウィンドウ]を選択します。

ブラウズモードからビューモードに切り替える

ツールバーから  をクリックするか、イメージファイルをダブルクリックします。

ビューモードからブラウズモードに切り替える

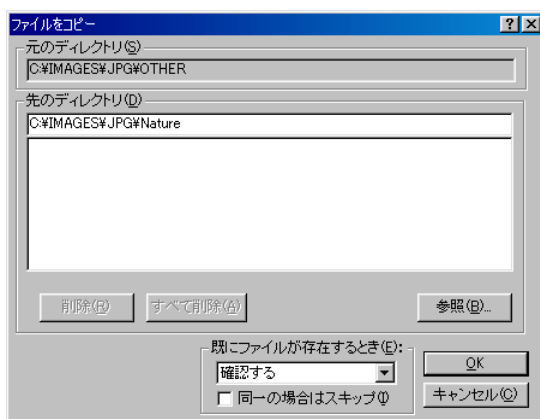
ツールバーから  をクリックするか、表示されているイメージをダブルクリックします。

ファイルのコピー / 移動

ファイルのコピー

選択されたイメージファイルを他のフォルダにコピーします。

1. コピーするファイルを選択します。
2. [編集]メニューの[複写 / ファイルの複写]を選択します。
3. 「ファイルをコピー」ダイアログが表示されるので、「先のディレクトリ」欄にファイルのコピー先を指定します。



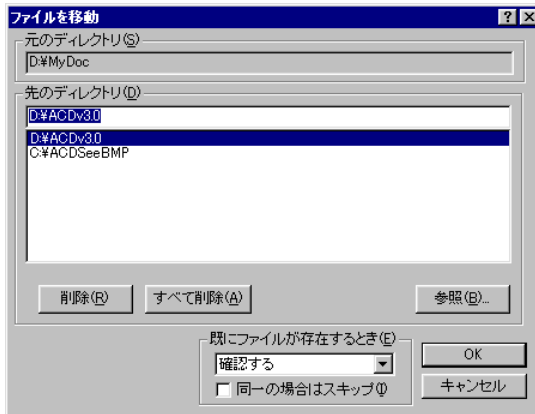
POINT

- ・「先のディレクトリ」の下には最近使われたフォルダのリストを表示します。
このリストにターゲットとなるフォルダが表示されている場合は、フォルダ名をダブルクリックで選択できます。
- ・「既にファイルが存在する時」欄では、ターゲットフォルダに、コピーするファイルの1つと同じ名前のファイルが存在する場合、どう処理するかを指定できます。
- ・1つのファイルをコピーする場合、新しいファイル名に変更することもできます。

ファイルの移動

選択されたイメージファイルを他のフォルダに移動します。

1. 移動するファイルを選択します。
2. [編集]メニューの[移動/ファイルの移動]を選択します。
3. 「ファイルを移動」ダイアログが表示されるので、「先のディレクトリ」欄にファイルの移動先を指定します。



POINT

- ・「先のディレクトリ」の下には最近使われたフォルダのリストを表示します。
このリストにターゲットとなるフォルダが表示されている場合は、フォルダ名をダブルクリックで選択できます。
- ・「既にファイルが存在する時」欄では、ターゲットフォルダに、移動するファイルの1つと同じ名前のファイルが存在する場合、どう処理するかを指定できます。
- ・1つのファイルを移動する場合、新しいファイル名に変更することもできます。

イメージの印刷

ブラウザモードからの印刷

1. 印刷対象のイメージを選択します。(複数選択可能)
2. [ファイル]メニューから[印刷]を選択します。
3. 印刷セットアップや印刷ダイアログが表示されたら、必要に応じて設定を行い印刷を実行します。



POINT

- ・イメージが1ページ以上ある場合、印刷するページを「印刷」ダイアログボックスで指定することができます。デフォルトでは全てのページを印刷します。



ビューモードからの印刷

1. 印刷対象のイメージを表示します。
2. [ファイル]メニューから[印刷]を選択します。
3. 印刷セットアップや印刷ダイアログが表示されたら、必要に応じて設定を行い、印刷を実行します。



POINT

- ・デフォルトでイメージはスクリーンに表示されているのとおよそ同じサイズで印刷されます。印刷前にズームレベルを調整することにより、印刷された時のイメージサイズを変更することができます。
- ・イメージが1ページ以上ある場合、印刷するページを「印刷」ダイアログボックスで指定することができます。デフォルトでは現行イメージのみを印刷します。

- ・ビューモードでは、イメージ中の一部分を選択し、その部分だけを印刷できます。



エクスプローラからの印刷

1. マウスの右ボタンでイメージファイルをクリックします。
2. 表示されるコンテキストメニューから「ACDSeeで印刷」を選択します。



注記

- ・コンテキストメニューに「ACDSeeで印刷」が表示されない場合、ツールメニューの [オプション] [その他] タブで「ファイルの関連付けの設定」をクリックします。ここで、該当するファイルタイプをチェック後、「ACDSeeで印刷」シェルコマンド項目をチェックします。



ファイルやフォルダの名前変更

ブラウザモードでの名前変更

ファイルリスト、フォルダツリー、お気に入りリストにあるファイルやフォルダの名前を変更することができます。

1. ファイルやフォルダを選択します。
2. [編集]メニューの[名前の変更]を選択します。
3. 選択されたファイル、フォルダ名が編集可能な状態になり反転表示されるので、新しい名前を入力し、< Enter >キーを押します。

ビューモードでの名前変更

表示されているイメージの名前を変更することができます。

1. [編集]メニューの[名前の変更]を選択します。
2. 「ファイル名の変更」ダイアログが表示されるので、新しい名前を入力します。
3. [OK]ボタンをクリックします。



ファイル削除

1. 削除対象のファイルやフォルダを選択 / 表示します。(ブラウズモードの場合、複数選択可能。)
2. [編集]メニューの[削除]を選択します。



POINT

- ・ ツールメニューの [オプション] にある [ファイリング] タブで、ファイルを削除する際、ゴミ箱を使用するかどうかや削除確認を行うかどうかの設定をすることができます。
- ・ < Ctrl > キーを押しながら削除を実行すると、削除確認なしで削除を行います。
- ・ < Shift > キーを押しながら削除すると、ゴミ箱を介さずに削除を行います。



ファイル説明

ファイルやフォルダに説明をつけることができます。
説明は "description" という非表示ファイルに保存されます。

それぞれの説明の長さは 3800 文字までです。

改行は無効となります。

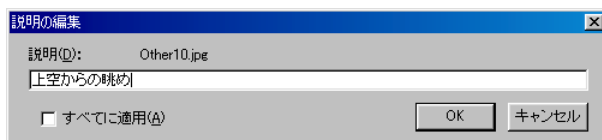
説明を添付すると、ステータスバーにその説明が表示されます。

ブラウズモードでは、詳細ビューで一番右の列に説明が表示され、
ファイル整列に使うことができます。

イメージ検索では、説明の中の単語やフレーズを検索条件として指定
することができます。

ファイル説明の設定 / 変更

1. 説明を入力するファイルを選択 / 表示します。
2. [編集]メニューから [説明の入力] を選択します。
3. 表示される「説明の編集」ダイアログで新しい説明を入力し、[OK]
ボタンをクリックします。



.....

POINT

- ・ブラウズモードでファイルリストが「詳細ビューモード」
の場合、ファイル説明欄をダブルクリックしても編集でき
ません。(ブラウズウィンドウオプションでこの操作を無効
にすることもできます。)
 - ・CD-ROMのような読み取り専用ファイルシステムにある
ファイルには説明は添付できません。
-

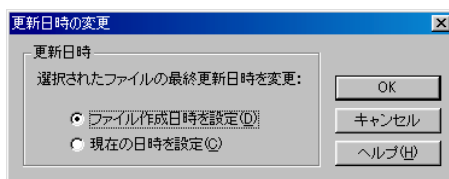
複数ファイルに同じ説明を添付（ブラウズモードの場合のみ）

1. 説明を添付する複数のファイルを選択します。
2. [編集]メニューの[説明の入力]を選択します。
3. 表示される「説明の説明」ダイアログで新しい説明を入力します。
4. 「すべてに適用」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

更新日時の変更

イメージファイルの最終更新日時を変更することができます。
最終更新日付に作成日時や、システムの現在の時間を設定できます。

1. 更新日時を変更するファイルを選択します。(複数選択可能)
2. [ツール] メニューの [更新日付けの変更] を選択します。
3. 設定する更新日時を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



- ・ファイル作成日時を設定
該当ファイルが作成された日時を設定します。
- ・現在の日時を設定
この操作を行っている日時を設定します。

壁紙

Windows のデスクトップの壁紙を設定できます。
選択されたイメージはBMPフォーマットに変換され、Windowsのフォルダに”ACD Wallpaper.bmp”として保存されます。
ACDSeeはこのイメージを表示するためにコントロールパネルにある「壁紙」の設定を変更します。

壁紙の設定方法

1. 壁紙に設定するファイルを選択します。
2. [ツール] メニューの [壁紙の作成] を選択します。
3. 表示されるコンテキストメニューからイメージファイルの表示方法を選択します。



中央：画面の中央にイメージファイルを表示します。



並列：イメージファイルを並列に並べて表示します。



復帰：ACDSee で壁紙の作成が実行される前の壁紙に設定をもどします。

POINT


- ・イメージがスクリーンより大きい場合はそれに合うように自動的に縮小されます。
 - ・ビューモードでは、壁紙コマンドを実行する前にイメージの一部分を選択して壁紙に設定することができます。
 - ・ビューモードの場合、プレビューを右クリックし表示されるコンテキストメニューから「壁紙の作成」を選択しても設定することができます。
 - ・ブラウザモードの場合、ファイルやサムネール上で右クリックし、表示されるコンテキストメニューで「壁紙の作成」を選択しても設定することができます。
-

スライドショー

ACDSeeはスライドショーとしてイメージをビューモードで表示することができます。

それぞれのイメージは事前に決められた間隔で次のイメージに移りません。

スライドショーを実行

1. スライドショーを実行するフォルダまたはイメージを選択します。
2. [ツール]メニューの[スライドショー]を選択します。
ビューモードの場合は、イメージシーケンス(後述の「イメージシーケンス」をご覧ください。)に1つ以上のイメージファイルが選択されている場合にのみ実行できます。
3. 表示されているイメージをダブルクリックするか、ツールバーのをクリックするとスライドショーを停止します。



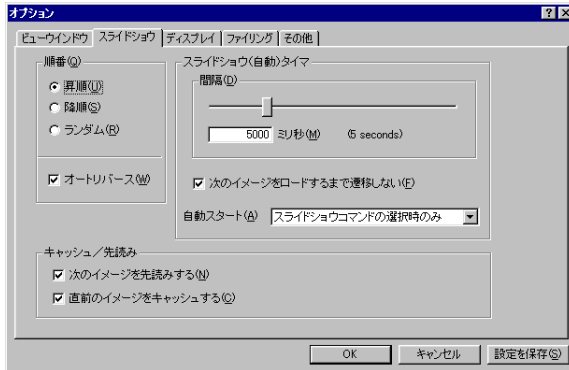
POINT

- ・隠しファイルやフォルダは、[ツール]メニューの[オプション]ファイルリストタブで「隠しファイルを表示」オプションが設定されている場合にのみスライドショーが実行されます。
- ・選択されたフォルダまたは、選択された1つ以上のイメージを表示します。何も選択されていない場合は現行フォルダにある全てのイメージファイルを表示します。ブラウズモードの場合、現行フォルダ中のサブフォルダにあるイメージファイルにもスライドショーを適用することができます。この場合は[ツール]メニューの[スライドショーの反復]を選択します。



スライドショーの表示設定

[ツール]メニューの[オプション][スライドショー]タブでスライドショーの表示に関する設定を行うことができます。



順番

イメージを表示する順番を指定します。
ブラウズモード時に設定されている表示順に対して、昇順 / 降順 / ランダムに表示を行う設定です。
オートリパースはスライドショーが停止されるまで、くり返しイメージを表示します。

スライドショー(自動)タイマ

次のイメージに移動する間隔やタイミングの設定を行います。
次のイメージを先読みする / 直前のイメージをキャッシュする
次のイメージへの移動をスムーズにするための設定です。

- ・ビューモードでフォーマットの変換を行うには、[ファイル]メニューの[名前を付けて保存]を使用してフォーマットを指定します。



ビューモードの場合

1. フォーマットを変換するイメージを表示します。
2. ファイルメニューから[名前を付けて保存]を選択します。
3. 変換するフォーマットを選択します。
4. 変換後のファイル名を入力します。
5. [保存]ボタンをクリックします。



POINT

イメージの選択された一部分のみを保存することもできます。



プラグイン

ACDSee はいくつかのプラグインモジュールをサポートしています。

イメージ読み込みプラグイン

このプラグインは、イメージを表示、印刷、変換するプラグインプラグインです。1つのプラグインでいくつかのイメージフォーマットをサポートできます。ACDSeeは一般的なイメージフォーマットを標準でサポートしています。イメージフォーマットを追加するには、単にプラグインを追加することでサポートされます。

イメージ書き込みプラグイン

このプラグインはイメージをエンコードするプラグインです。ファイル変換機能を使用し、ビューと画像補正のコマンドとして保存されます。

アーカイブ解凍プラグイン

このプラグインは、アーカイブファイルを通常のフォルダのように内容を表示、解凍することができます。1つのプラグインで複数のアーカイブフォーマットをサポートできます。ACDSeeは標準でLHA(LZHとして知られている)やZIPをサポートしています。アーカイブフォーマットを追加するには、単にプラグインを追加することでサポートされます。

デジタルカメラプラグイン

このプラグインはACDSeeでデジタルカメラにアクセスできるものです。1つのプラグインで複数のカメラをサポートできます。

拡張コマンドプラグイン

ACDSeeにはSendPix、サムネールやHTMLアルバムの作成、JPEG画像の劣化のない変換プラグインがあります。プラグインの追加だけでコマンドを追加することができます。

.....

注意

ACD Systems, Ltd. が認証していないプラグインは保証できません。

.....

ブライン設定

ツールメニューの[プラグインの設定]で以下の設定を変更できます。

プラグインフォルダ

デフォルトで、プラグインフォルダはディレクトリ "C:¥Program Files¥ACD " に設定されています。

[参照] ボタンをクリックすると、プラグインフォルダを変更することができます。変更された設定は ACDSsee を再起動するまで有効になりません。

プラグイン使用選択

デフォルトでは、すべてのプラグインが有効になっています。プラグイン横のチェックボックスのチェックを外すと、プラグインを無効にできます。

プラグイン優先度

1つのファイルタイプに複数のプラグインがサポートされている場合があります。この場合、そのファイルを扱うプラグインを決定するために、アプリケーションはプラグインの優先度を使用します。優先度の高いプラグインから使用されます。プラグインを選択し、[上へ移動] または [下へ移動] ボタンをクリックすることにより、プラグインの優先度を変更できます。リストの上から高い優先度を持つプラグインが表示されます。

.....

注意

- ・ Susie プラグインは本来の ACD プラグインの特性や速度を持っていないので、Susie プラグインが ACD プラグインの代わりに使用されないよう、Susie プラグインの優先

度を低く設定することをおすすめします。またはサポートされているフォーマットで ACD プラグインと重複する特定の Susie プラグインを無効にしてください。



プラグイン詳細設定

Kodak Photo CD や Susie のようなプラグインでは、詳細なオプションを設定できます。オプションを設定するには、プラグインメニューから [プラグインの設定] を選択し、「プラグイン設定」ダイアログで [プロパティ ...] ボタンをクリックします。

シェルコマンド

Windows では各ファイルタイプに動作を関連付けることができます。デフォルトの動作は一般にエクスプローラでイメージをダブルクリックした時に「開く」コマンドを実行します。

ACDSee は「開く」を含むほとんどの動作をサポートします。

シェルの実行

ブラウズモードでは、ファイルをマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから「シェルコマンドの実行」「動作」を選びます。「開く」を実行するには、ブラウズモードかビューモードのどちらかで [ツール] メニューの [シェルコマンドの実行 | 開く] を選びます。同様に「編集」を実行する場合は [ツール] メニューの [シェルコマンドの実行 | 編集] を選択します。

開くと編集動作の設定と変更

「開く」または「編集」が実行されると、それらが設定されていなくても、ACDSee はアプリケーション選択ダイアログボックスを表示します。

既存の動作のアプリケーションを変更するのに、[ツール] メニューの [シェルコマンドの実行] [アプリケーションからの編集] を選択することにより、そのダイアログボックスを表示することができます。

エクスプローラの [表示 | フォルダオプション] を使って、ファイルタイプのタブをクリックすることにより、開く、編集、そして他の動作もまた設定することができます。

ドキュメントファイルの起動

ACDSeeがイメージとして認識しないファイルをダブルクリックすると、ACDSeeはそのファイルにデフォルトで関連付けられたアプリケーションを起動します。

ファイルを [開く] と [編集]

ACDSeeではファイルタイプに対し2つの動作を設定できます。[開く]では通常のエクスプローラや他のプログラムに使われているデフォルトの動作です。追加の[編集]により、第1のコマンドを設定できます。これにより、イメージ編集のために他のアプリケーションを起動することができます。

ファイルタイプに対する [開く] [編集] 動作の設定

1. ファイルを選択 / 表示します。
2. ツールメニューから[シェルコマンドの実行 | アプリケーションから開く]またはシェルコマンドの実行 | アプリケーションから編集]を選択します。
3. アプリケーションを選択します。
4. 関連づけを常に使用する場合は、「このタイプのファイルのOpen / Edit にはいつもこのアプリケーションを使う」をチェックします。
5. [OK] ボタンをクリックします。

.....

注意

ツールメニューの [ファイルの関連付けの設定] コマンドで、そのファイルタイプのデフォルトアプリケーションとして ACDSee を設定すると、ACDSee はその関連する編集アプリケーションとして以前関連付けられたアプリケーションを自動的に設定します。

.....

お気に入りリストの使用


ACDSee から早くアクセスできるようにお気に入りリストにアプリケーションを設定することができます。

お気に入りリストにある指定のアプリケーションでファイルを開くには、そのファイルをドラッグして、アプリケーションのショートカットにドロップします。

(「第3章 画面構成」にある「お気に入りリスト」を参照。)

ACDSeeのカスタマイズ方法

ツールメニューの[オプション]コマンドで、ACDSeeのカスタマイズを行うことができます。

オプション項目についての情報を取得するには、マウスの右ボタンでその項目をクリックするか、タイトルバーにある  をクリックしてからそのオプションをクリックします。



POINT

- ・オプション設定後、[OK] ボタンをクリックすると一時的に設定内容を保存します。[デフォルトに設定] ボタンをクリックすると、デフォルトとして設定内容を保存します。
- ・あるコマンドを使っても設定できます。こうした設定のほとんどが自動的にデフォルトとして保存されます。



第5章 ブラウズモードでの操作

ファイル操作

ブラウズウィンドウでは、ファイルリストやフォルダツリーで1つ以上の項目を選び、ドラッグ アンド ドロップで他の場所に移動したり、アプリケーションを起動したりすることができます。

ファイルやフォルダのコピー

1. コピーするファイルやフォルダを選択します。(複数選択可。)
2. マウスの右ボタンでその選択項目をドラッグし、コピー先のファイルリストやフォルダツリー、お気に入りリストにあるフォルダやフォルダのショートカットにドロップします。
3. 表示されるコンテキストメニューから[ここに複写]を選択します。

ファイルやフォルダの移動

1. 移動するファイルやフォルダを選択します。(複数選択可。)
2. マウスの右ボタンでその選択項目をドラッグし、移動先のファイルリストやフォルダツリー、お気に入りリストにあるフォルダやフォルダのショートカットにドロップします。
3. 表示されるコンテキストメニューから[ここに複写移動]を選択します。



POINT

・マウスの左ボタンで項目をドラッグすることもできます。同じディスクドライブにあるフォルダにドラッグすると、デフォルトでファイルは移動されます。異なるディスクドライブにあるフォルダにドロップすると、ファイルはコピーされます。

ファイルのコピーの場合は、マウスカーソルに "+ " が表示されます。

<Shift> キーを押しながらドラッグするとファイルの移動

に、<Ctrl> キーを押しながらドラッグするとファイルのコピーに切り替わります。

- ・ ツールメニューの [オプション] ダイアログにある [ファイリング] タブには、コピーまたは移動先のフォルダに同じ名前のファイル等が存在する場合に、どう処理するかを指定する複数のオプションが用意されています。



ファイルやフォルダのショートカットの作成

1. ショートカットを作成するファイルやフォルダを選択します。
2. マウスの右ボタンでその選択項目をドラッグし、ファイルリスト、フォルダツリーまたはお気に入りリストにあるフォルダやフォルダのショートカットにドロップします。
3. 表示されるコンテキストメニューから [ここにショートカットを作成] を選択します。



POINT

お気に入りリストにショートカットを作成する場合は、マウスの左ボタンでファイルかフォルダをドラッグし、お気に入りリストのバックグラウンドの部分にドラッグしてもショートカットを作成することができます。



お気に入りリストにあるアプリケーションでファイルを開く

1. ファイルを選択します。
2. マウスの左ボタンでファイルをドラッグし、お気に入りリストにあるアプリケーションのショートカット上にドロップします。

ドラッグ アンド ドロップ特殊機能

ACDSee でオブジェクトドラッグ時、ドラッグしたままターゲットウィンドウの境界近くに持っていくと、その方向にスクロールすることができます。

フォルダツリーに項目をドラッグ中、<Space>キーまたは、もう一方のマウスボタンを押すことにより、反転表示されているフォルダを拡張または縮小できます。

サムネール

ブラウズ中、表示メニューから [サムネール] コマンドを選択することにより、イメージをサムネールとして表示します。

サムネールキャッシュ

サムネールを生成して表示するには時間がかかるため、ACDSeeはサムネールキャッシュ機能を使用しています。イメージのサムネールが生成されると、データベースファイルに保存されます。次回からACDSeeはそのイメージに対してサムネールを要求し、再びイメージを読み込まずに、そのデータベースから直接サムネールを読み取ります。サムネールを読み取ることにより、イメージの表示がより速くなります。

キャッシュされたイメージが変更された場合、ACDSeeは自動的に変更を検出し、次回表示する時サムネールを再生します。

読み取り専用イメージファイルや取り外し可能ディスクにあるイメージファイルのサムネールもまた、ACDSeeによってキャッシュされます。ACDSeeはそれを識別するのに、取り外し可能ディスクのボリュームラベルを使用しています。そのため、同じ名前のイメージが複数のディスクにある場合でも、ACDSeeは正しくイメージをキャッシュすることができます。

キャッシュに保存されたサムネールの圧縮

キャッシュに保存されたサムネールを圧縮することができます。これによりディスク容量を節約することができますが、通常よりもサムネールの読み込みに時間がかかります。

ツールメニューの [オプション] [その他] タブにある「サムネールの圧縮」オプションで「なし」または「最適」以外のオプションを選択すると、サムネールの質が著しく低下します。

データベースの断片化の修復と最適化

ACDSeeでイメージファイルを削除する場合、データベース上の使用されたスペースを再利用するためにデータベース上からも該当するサムネールが削除されます。ただし、エクスプローラでイメージを削除、移動、または名前変更すると、サムネールはデータベースから削除さ

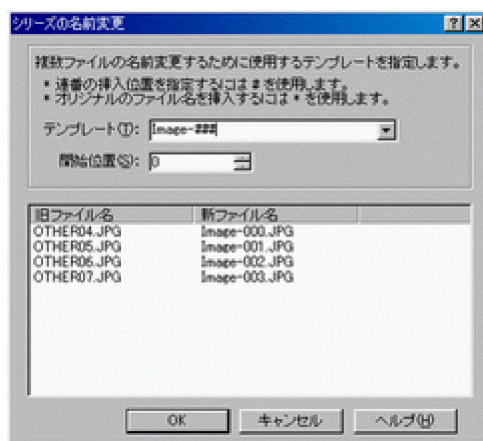
れず、スペースが無駄になります。

データベースメニューの[メンテナンス]コマンドでデータベースの断片化の修復と最適化をおこなうことにより効果的に使用することができます。

シリーズ名変更

番号順にまとめて名前変更できます。

1. ファイルを選択します。
2. [ツール]メニューの[シリーズの名前変更]を選択します。
「シリーズの名前変更」ダイアログが表示されます。
3. 「テンプレート」欄に名前を入力します。
4. 開始位置を指定します。
5. ダイアログ下方にある一覧に変更後のファイル名が表示されます。
6. [OK]ボタンをクリックします。



POINT

- ・初期状態で、テンプレートと開始インデックスは最初に選択されたファイル名に基づいて生成されます。
- ・ファイル名を指定する場合は、「旧ファイル名」欄に表示されている該当のファイルをダブルクリックすると、そのファイル名に基づいてテンプレートとインデックスを生成し直します。
- ・1度生成されたテンプレートは保存されるため、何度でも使うことができます。

ファイルリストの生成

現行フォルダの内容をテキストリストとして作成します。

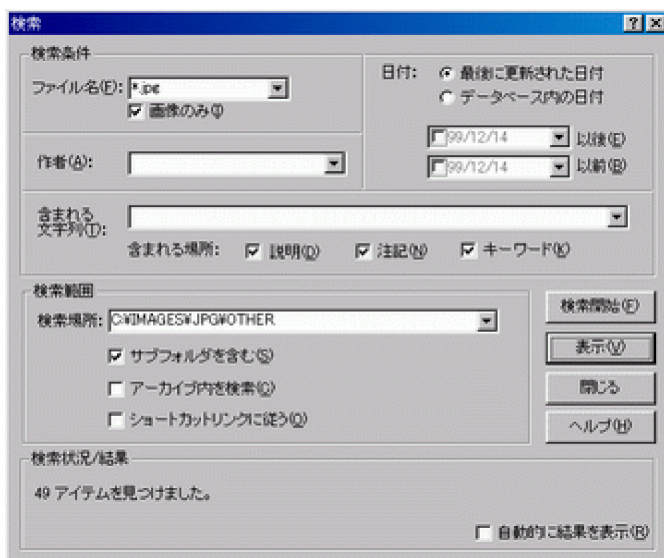
1. ファイルリストを作成するフォルダを選択します。
2. [ツール]メニューの[ファイルリスト生成]を選択します。
リストが生成され、メモ帳で表示されます。

リストに含まれる情報は、ブラウズウィンドウで詳細モードで表示される内容と同じです。リストの整列順序、列表示および列の順序は、それぞれのファイルリストの設定と同じです。

作成されたファイルリストは "C:¥WINDOWS¥TEMP" ディレクトリに保存され、テキストエディター（通常メモ帳）を使って編集することもできます。

イメージ検索

[ツール]メニューの[イメージ検索]で、ファイル名やファイル説明のキーワードに一致するイメージファイルを検索できます。



検索条件

ファイル名

一致する名前をもつファイルを検索するために、1つ以上のファイル名のパターンを入力することができます。

既存のファイル名と入力されたパターンのいずれかが一致すると検出されます。

パターンに拡張子を指定しない場合は、どのファイル拡張子でも一致することになります。

含まれる文字列

ファイルに設定されている説明に含まれるキーワード、キーワードの一部およびフレーズを入力することができます。

複数のキーワードを指定する場合は、スペースで各キーワードを区切り、フレーズには引用符をつけます。

この場合、これら条件と全て一致した場合のみファイルが検出されます。

検索範囲

検索場所

検索範囲は選択されたフォルダに限られます。フォルダが選択されていない場合は現行のフォルダ内で検索を行います。

サブフォルダも含む

「検索場所」に指定されたフォルダにサブフォルダがある場合、ここにチェックをいれるとサブフォルダも検索範囲対象となります。

検索経過 / 結果

指定フォルダを検索中は検索状況を表示します。

検索が終わるとその内容を表示します。

「自動的に結果を表示する」にチェックをいれて検索を実行すると、検索された該当ファイルのビューウィンドウを表示します。

パターン

検索条件にパターンを使用することができます。パターンにはファイル名の一部やワイルドカードを用いることができます。

パターンを使用した場合、大文字、小文字は区別しません。

パターンをスペースまたはまたは、セミコロン";;"で区切って複数指定することができます。

スペースやセミコロンを含むパターンの一致を望む場合は、そのパターンを引用符で囲みます。

ワイルドカード

? ファイル名のどれか一文字と一致

例： ca?.jpg は cat.jpg や cap.jpg とは一致しますが、cats.jpg とは一致しません。

* ファイル名にあるゼロ文字以上が一致

例： cat* は cat.jpeg や cathy.jpg に一致します。

[...] 括弧で囲まれた文字のいずれかと一致

例： `cat[tr]` は `cat.jpg` や `car.jpeg` と一致しますが、`cap.jpg` とは一致しません。

[!...] 括弧で囲まれていない文字のいずれかと一致

例： `cat[!0]` は `cata.jpg` と `catb.jpg` とは一致しますが、`cat0.jpg` とは一致しません。

[...-...] 指定範囲内のいずれかと一致

例： `cat[a-f0-9]` は `cata.jpg`、`catb.jpg`、...、`catf.jpg` と `cat0.jpg`、`cat1.jpg`、...、`cat9.jpg` と一致します。

\ ワイルドカード文字をエスケープ

例： `cat\[?\]` は `cat[1].jpg` や `cat[2].jpg` などと一致します。

パターンにワイルドカードを含まない

パターンはサブストリングとして一致します。

例： `cat` は `cat`、`cathy` と `bobcat` に一致し、`*cat*` と同じです。

ファイル整列変更

ファイルの整列にどのようなファイル情報や整列方向（昇順 / 降順）を使用するか指定することができます。

列ヘッダーを使用して整列する

詳細ビューモードでファイルリスト上部のヘッダーをクリックすることによりファイルを整列することができます。

名前順で整列する場合、ヘッダーの「名前」欄をクリックします。再度「名前」欄をクリックすることにより昇順 / 降順を切り替えることができます。

昇順に整列された場合、ヘッダー名の次に "+" マークが、降順に整列された場合は "-" マークが表示されます。

メニューから整列する

[表示] メニューの [アイコンの整列] で整列方法を選択します。

コンテキストメニューから整列する

ファイルリストのバックグラウンドを右クリックして表示されるコンテキストメニューから「アイコンの整列」を選択しさらに表示されるサブメニューから整列方法を指定します。

ファイルリストの表示 / 非表示

詳細モードではいくつかの情報列が表示されます。どの列を表示するかをカスタマイズできます。

コンテキストメニュー

列を表示 / 非表示にするコンテキストメニューを表示するには、ファイルリスト上部にある列ヘッダー領域を右クリックし、表示されるコンテキストメニュー指定します。

列名は常に表示されます。

メニュー

[表示]メニューの[列の表示]で各項目の表示 / 非表示を設定します。

ファイル列の順序変更

詳細モードではいくつかの情報列が表示されます。

1. マウスの左ボタンで列ヘッダーをクリックし、好みの位置にドラッグします。
2. 列が挿入される位置は色つきの縦線が表示されます。

プレビューを表示する

ACDSeeは、ブラウズモードのデフォルトで選択画像のプレビューを表示しますが、プレビューが表示されていない場合は、[表示]メニューの[プレビュー]を指定し、表示位置を指定すると、プレビュー領域に該当ファイルのプレビューを表示できます。

また、同じ[プレビュー]では表示サイズと自動ロードのオン/オフの設定も行うことができます。

TWAIN 機器からの取込み

ACDSee はスキャナやデジタルカメラ等のデジタルイメージハードウェアからの転送方式である業界標準のTWAINインターフェースをサポートしています。

取込み

1. [ファイル]メニューの[TWAIN 機器からの取込み]を選択します。
「TWAIN 機器からの取込みの設定」ダイアログが表示されます。



2. 「TWAIN ソース」欄に表示されるリストから使用するデバイスを選択します。
リストにデバイスが表示されない場合はTWAINドライバが利用可能かどうかデバイスのマニュアルをご参照の上確認してください。
3. 「ファイルフォーマット」で取込まれるイメージのフォーマットを選択します。
4. 「ファイル名テンプレート」で取込むイメージにつける名前を入力します。
テンプレートに1つ以上の“#”をつけることでACDSeeは自動的に“#”を連番に置き換えます。
例えばファイル名テンプレートに「イメージ##」と設定した場合、取込まれるイメージは「イメージ01」、「イメージ02」... というファイル名になります。

POINT

- [ツール]メニューの [オプション] [その他] タブで「取込み前に設定ダイアログを表示」オプションをチェックすると、イメージを取込み時に毎回ダイアログを自動的に表示できます。
- 「TWAIN 機器からの取込み」が実行されると、この時アクティブのフォルダに取込まれます。
イメージの転送が完了するたびにファイルリストにイメージが表示されます。

デジタルカメラサポート

ACDSeeはサポートされているデジタルカメラに次の機能を提供します。

参照 すべて転送 画像の取得	フォルダのようにカメラの内容をブラウズ コンピュータにカメラのすべての画像を移動 指定した間隔で画像を取込み
----------------------	--

カメラ設定

ACDSeeにデジタルカメラを設定するには、[ツール]メニューの[デジタルカメラ | カメラの設定]を選択します。

表示される機種設定で、接続設定やオプションを設定するプロパティをクリックします。

表示されるリスト中に該当するカメラがない場合、そのカメラのプラグインをダウンロードします。

そのカメラのプラグインを使用できなくても「取込み」機能を使用してアクセスすることができます。

カメラのイメージ参照

ACDSeeはハードディスクドライブ上のイメージのようにカメラにあるイメージをブラウズできます。

[ツール]メニューの[デジタルカメラ | ブラウズ]を選択します。

転送速度に制限がありますが、直接カメラのイメージをディスプレイ上に表示、スライドショーできます。

イメージを表示する前にハードディスクドライブイメージを転送することをお勧めします。

カメラからイメージを転送

[ツール]メニューの[デジタルカメラ | すべて転送]コマンドは、現行フォルダにカメラの全てのイメージを素早く転送します。

転送が完了するとイメージは自動的にカメラから削除されます。

画像の取得

[ツール]メニューの[デジタルカメラ | 画像の取得]コマンドは、一定間隔で1つまたは複数の画像を取込みます。

取込まれたイメージがどのフォルダに転送されるか、転送後、カメラから画像を削除するかを設定できます。

第6章 ビューモードの操作

イメージシーケンス

ビューモードでは、1つ以上のモードを「表示 / イメージ / 次」や「表示イメージ / 前」等のコマンドを使って表示できます。

これらのイメージがアクティブなイメージシーケンスを編成します。シーケンス内の合計イメージ数と表示中のイメージ番号がステータスバーに表示されます。

シーケンスにイメージを追加

以下にあげるいずれかの方法でシーケンスにイメージを追加できます。

- ・ [ファイル]メニューから [開く] を選択する。
- ・ エクスプローラでクリップボードにファイルをコピーし、[編集]メニューから [貼付け] コマンドを使って、ACDSee に貼付ける。
- ・ エクスプローラからイメージファイルをドラッグし、ACDSee のビュー領域にそれらをドロップする。(リストにイメージを挿入できるように、オプションの [その他] タブにある「ドロップしたファイル」オプションをあらかじめ設定しておく必要があります。)
- ・ エクスプローラにあるイメージをダブルクリックします。(リストにイメージを追加できるように、オプションの [その他] タブにある「ファイルスタートアップ」オプションをあらかじめ設定しておく必要があります。)

シーケンスからイメージを削除

以下にあげるいずれかの方法でシーケンスからイメージを削除できます。

- ・ [ファイル]メニューの [閉じる] コマンドでシーケンスから現行のイメージを削除します。
- ・ [ファイル]メニューの [全て閉じる] コマンドでシーケンス内を空にします。
- ・ [編集]メニューの [ファイルの切り取り] コマンドで現行のイメー

ジファイルをクリップボードにコピーし、シーケンスからそれを削除します。

シーケンスのイメージを整理

以下にあげるいずれかの方法で、シーケンスのイメージの位置を変更できます。

1. [編集]メニューの[切り取り]コマンドを使って、イメージファイルをクリップボードに移動します。
2. [編集]メニューの[貼付け]コマンドを使って、好みの位置にイメージを挿入します。

イメージシーケンスをファイルを保存

[ファイル]メニューの[名前に連番をつけて保存]コマンドを使って、現行のイメージシーケンスをファイルに保存します。

イメージシーケンスをファイルから再表示

[ファイル]メニューの[開く]コマンドを使ってイメージシーケンスファイル(.AIS)に保存されているイメージを読み込むことができます。その際「ファイル種類:」をイメージシーケンスに切り替える必要があります。

また、エクスプローラまたはACDSeeのブラウザにあるイメージシーケンスファイルをダブルクリックするか、".AIS"ファイルをビュー領域にドラッグ&ドロップするか、または、それをクリップボードにコピーしてイメージシーケンスを開くことができます。

イメージシーケンスファイルの編集

イメージシーケンスファイルはシーケンス内のイメージのパスを含む単なるテキストファイルです。テキストファイルの1行につき、1つのイメージパスが含まれます。

コンテキストメニューから[テキスト編集]を選ぶか、またはそのファイルをメモ帳などで開くことにより編集することができます。

イメージシーケンスファイルの新規作成

エクスプローラでマウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューから <新規> <ACDSeeイメージシーケンス> を選ぶことにより、新規のイメージシーケンスファイルを作成できます。



POINT

イメージシーケンスからブラウズモードに戻ると、ACDSee は最後に表示したイメージのフォルダをブラウズします。


イメージシーケンスを開いたフォルダに戻るには、< ESC > キーを押してブラウズモードに戻る必要があります。




ズーム

デフォルトで、イメージは普通のサイズで表示されます。ズームコマンドを使ってそのサイズを変更することができます。


ズームイン

[ズーム]メニューの[ズームイン]を選択するか、ツールバーから  ボタンをクリックします。

ズームアウト

[ズーム]メニューの[ズームアウト]を選択するか、ツールバーから  ボタンをクリックします。

普通サイズに戻す

[ズーム]メニューの[実物サイズ]を選択するか、ツールバーから  ボタンをクリックします。

ウィンドウ/スクリーンサイズに合わせる。

[ズーム]メニューの[最適サイズ]を選択します。

ズーム選択

マウスの左ボタンで拡大する範囲をドラッグすることにより、イメージの領域を選択することができます。(後述の「選択領域」をご参照ください。)

イメージがビュー領域より大きい場合は、< Shift > キーを押して選択します。

マウスの左ボタンで選択範囲の内部をクリックすると、イメージがズームされその選択範囲が表示可能な全領域に拡大されます。(この時選択領域は解除されます。)

ズームロック

通常、ズームレベルはイメージが表示される度にデフォルトレベルに戻ります。

[ズーム]メニューの[ロック]を選択するとズームレベルを固定することができます。

ズーム自動拡大/縮小

表示時にイメージがウィンドウやスクリーンのサイズに合うようにACDSeeより自動的にイメージの拡大や縮小を指定することができます。

- ・ [ズーム]メニューの[自動拡大]または[自動縮小]が選択されている場合、イメージはスクリーンの大きさに合うように拡大または縮小されます。
選択されていない場合はウィンドウサイズに合うように拡大または縮小されません。
- ・ 自動縮小のみが選択されている場合、大きいイメージは縮小されますが、小さいイメージは拡大されません。
- ・ 逆に、自動拡大のみが選択されている場合は、小さいイメージは拡大されますが、標準サイズ以下でイメージが表示されることはありません。

パニング / スクローリング

イメージの大きさ(幅と高さ)が表示領域より大きい場合には、イメージの表示されていない部分をスクロールできます。

この時、マウスカーソルが手の平のマークにかかります。

マウスを使用

マウスの左ボタンを押しながらイメージをドラッグしてパニング(スクロール)します。

キーボードを使用

カーソルキーでそれぞれの方向にスクロールします。スクローリングのスピードを遅くするには < Shift > キー、速くするには < Ctrl > キーを押します。

選択領域

< Shift > キーを押しながらマウスの左ボタンでドラッグすることにより、イメージの選択範囲を指定します。選択領域部分はその領域のまわりが点線のボックスで表示されます。

- ・ イメージがスクロールできない場合は、選択するために < Shift > キーを押す必要はありません。
- ・ 選択領域を指定している最中は、< Esc > キーでキャンセルできます。
- ・ 現行の選択領域を取り消す場合は < Shift > キーを押してマウスの左ボタンをクリックするか、[編集] メニューの [選択を解除] を選択します。

一度、選択すると、以下の操作を行うことができます。

- ・ マウスの左ボタンで選択領域内をクリックしてズームすることができます。(前述の「ズーム」をご参照ください。)
- ・ 選択領域のみを印刷することができます。(後述の「印刷」をご参照ください。)
- ・ 選択領域をクリップボードにコピーできます。
- ・ 選択領域をデスクトップの壁紙に指定することができます。(後述の「壁紙」をご参照ください。)

フォルダと同期化

フォルダの内容とイメージシーケンスを同期化（シンクロナイズ）します。

フォルダの同期化

1. [ツール]メニューの[フォルダの同期化]を選択します。
フォルダの同期化ダイアログが表示されます。
2. 「フォルダ」欄に同期化するフォルダを指定します。
3. 同期化の際のオプションを指定します。

直ちに新規イメージを表示

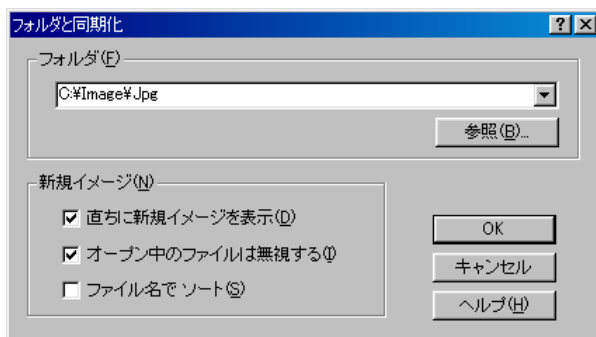
フォルダにあらわれる新しいイメージを直ちに表示します。このオプションが指定されていない場合は、新規イメージはイメージシーケンスの最後に追加され、表示イメージは変わりません。

オープン中のファイルは無視する

他のアプリケーション（newsreader等）によるファイルの転送が完了するまで、現行のイメージシーケンスに新規イメージを追加しません。

ファイル名でソートした位置に挿入

ファイルリストを常にファイル名で整理します。



4. [OK] ボタンをクリックします。

.....

POINT

- newsreader の添付フォルダに同期化した場合、ACDSee はデコーディングとともに自動的にイメージを表示します。
 - スライドショー機能と合わせて使用すると、ACDSee は内容が次々に変化するようなスライドショーを表示します。
-

フルスクリーンモードでイメージ表示

フルスクリーンモードでは、イメージをスクリーン一杯に表示します。ウィンドウ枠、メニューバー、ステータスバー、ツールバーは表示されません。

フルスクリーンで表示

1. ビューモードでイメージを表示します。
2. < Ctrl+F > キーを押します。イメージがフルスクリーンで表示されます。
3. 通常モードに戻るには、再度 < Ctrl+F > キーを押します。



POINT

- ・ショートカットキーやマウスの右ボタンでクリックで表示されるコンテキストメニューを使用してズームインやコピー等の操作をすることができます。
- ・マウスの左ボタンを押しながら右ボタンをクリックすると、フルスクリーンモードと標準モードの切り替えができます。
- ・フルスクリーンモードでメニューバー、ステータスバー、ツールバーを一時的に表示するにはキーボードから下記のキーを押します。

メニューバー	< M >
ツールバー	< T >
ステータスバー	< B >



ビューウィンドウのサイズと位置のコントロール

デフォルトでビューウィンドウは表示されるイメージサイズに合うように自動的に拡大 / 縮小され、スクリーンの中央に配置されます。

いつも指定のサイズと位置を使用するには

1. [ツール] メニューの [オプション] を選択します。
2. ビューウィンドウタブの「ウィンドウサイズをイメージに合わせる」をオフにします。
3. 好みの位置にウィンドウを配置します。
4. [デフォルトに設定] ボタンをクリックします。
5. [表示] メニューから [ウィンドウの位置を保存] を選択します。

デフォルトでフルスクリーンモードから表示

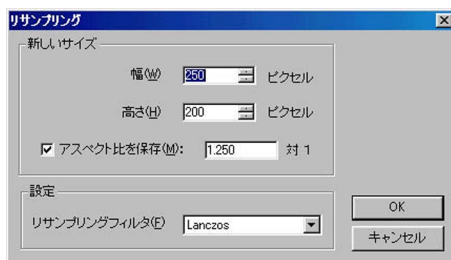
1. [ツール] メニューの [オプション] を選択します。
2. ビューウィンドウタブの「フルスクリーン表示」をチェックします。
3. [デフォルトに設定] ボタンをクリックします。

第7章 画像補正

ACDSee では簡単にイメージ画像の補正を行うことができます。
該当するイメージを選択し、ツールメニューから [画像補正] を選択
します。

サイズの変更




編集メニューの [サイズの変更] で、イメージのサイズを変更するこ
とができます。



イメージの回転

編集メニューの [回転] でイメージを回転することができます。
イメージプレビューで確認しながら設定することができます。



-  反時計回りに90度回転
-  180度回転
-  時計回りに90度回転

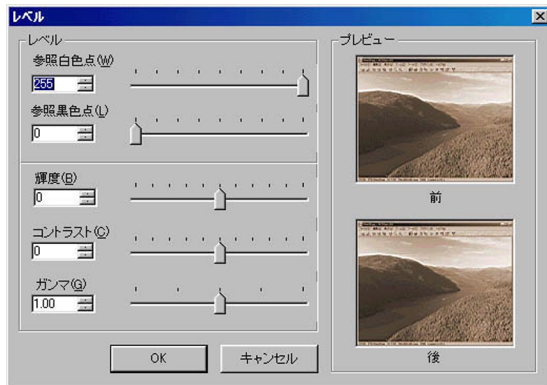
イメージ反転

編集メニューの[反転]で、イメージを反転することができます。
イメージプレビューで確認しながら設定することができます。



レベル調整

調整メニューの[レベル]で、白色点や黒色点、輝度、コントラスト、ガンマのレベルを、設定することができます。
設定前と設定後のイメージプレビューが表示されるので、イメージを確認しながら設定することができます。
調整メニューから[自動レベル]を選択すると、自動的に、各レベルが調整されます。



カラー

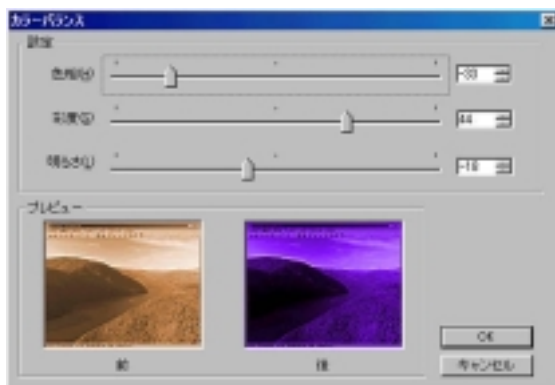
カラーメニューで、選択されたイメージの色の表現方法を設定します。

- ・ 白黒 (1bpp)
- ・ 16 グレー (4bpp)
- ・ 256 グレー (8bpp)
- ・ 2 カラー (1bpp)
- ・ 16 カラー (4bpp)
- ・ 256 カラー (8bpp)
- ・ High カラー (15bpp)
- ・ True カラー (256bpp)

カラーバランス

調整メニューの [カラーバランス] で、色相、彩度、明るさを設定することができます。

設定前と設定後のイメージプレビューが表示されるので、イメージを確認しながら設定することができます。



ノイズ除去

フィルタメニューの [ノイズ除去] を選択すると、イメージ中にあるノイズを取り除き、きれいに表示します。

ソフトフォーカスとシャープ

フィルタメニューの[ソフトフォーカス]でイメージにぼかし効果を設定することができます。



フィルタメニューの[シャープ]では、イメージのコントラストを上げて、イメージをシャープにします。

両機能とも設定前と設定後のイメージプレビューが表示されるので、イメージを確認しながら設定することができます。



ネガとセピア変換

効果メニューの[ネガ]では、ネガフィルムのようにイメージを変換します。

[セピア変換]を選択すると、イメージをセピア色に変換します。

カラー

効果メニューの[カラー]では、イメージの色相、彩度のトーンを設定することができます。

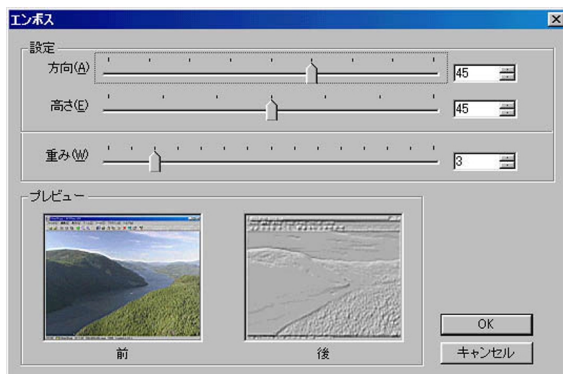
設定前と設定後のイメージプレビューが表示されるので、イメージを確認しながら設定することができます。



エンボス

効果メニューの[エンボス]では、イメージにエンボス効果を設定することができます。エンボスの方向や高さ、重みを設定することができます。

設定前と設定後のイメージプレビューが表示されるので、イメージを確認しながら設定することができます。



復帰

ファイルメニューの [復帰] を選択すると画像補正を行う前の状態にイメージをもどします。

すでにイメージが保存されている場合は、復帰できないのでご注意ください。

画像補正後のイメージの保存

画像補正終了後、イメージを保存します。保存方法は2通りあります。

ファイルメニューの [保存]

現行イメージを画像補正前のイメージに上書き保存します。

ファイルメニューの [名前を付けて保存]

画像補正後のイメージを別名で保存します。補正前のイメージはそのまま変更されません。

画像補正の終了

ファイルメニューから [終了] を選択します。補正後のイメージが保存されていない場合、保存確認ダイアログが表示されます。

付録

ツールバーのボタン

ブラウザウィンドウ



前の画面へ

前に表示していた画面を表示します。



次の画面へ

現在表示されている画面の次の画面を表示します。



一つ上へ

一つ上の階層のディレクトリを表示します。



再表示

現在選択されているファイルの再読み込み / 表示を行います。



お気に入り

頻繁に使用するフォルダやドライブにすぐにアクセスできるように設定します。



イメージの検索

検索条件 / 検索範囲を指定して、画像ファイルを検索します。



プレビュー

画像ファイルのプレビューを行います。



ビューウィンドウ

選択された画像ファイルをビューモードで表示します。



画像補正

選択された画像ファイルの補正を行います。



TWAIN 機器からのイメージ取込み

TWAINフォーマット対応デバイスからイメージ取込みを行います。



デジタルカメラ

現在選択可能なデジタルカメラの画像取込み時に必要な設定を行います。



印刷

選択された画像ファイルを印刷します。



デスクトップ壁紙

選択された画像ファイルをデスクトップの壁紙に指定します。



複写

選択された画像ファイルを別名で保存します。



移動

選択された画像ファイルを、指定の場所に移動して保存します。



削除

選択された画像ファイルを削除します。

**名前の変更**

「名前」欄でファイル名の変更を行います。

**プロパティ**

イメージのプロパティを表示します。

**オプション**

ウィンドウの表示設定やスライドショーの設定、ファイルメニューコマンドの設定ファイルタイプの関連付け等の各種設定を行います。

**サムネール**

ファイルリストをサムネールで表示します。

**大きいアイコン**

ファイルリストを大きいアイコンで表示します。

**小さいアイコン**

ファイルリストを小さいアイコンで表示します。

**一覧**











ファイルリストを一覧表示します。










**詳細**

ファイルリストを詳細表示します。

ビューウィンドウ



-  **ブラウズウィンドウ**
表示がビューモードからブラウズモードにかわります。
-  **開く**
ファイルを指定して開きます。
-  **前のページ**
画像ファイルに複数のページがある場合、前ページを表示します。
-  **次のページ**
画像ファイルに複数のページがある場合、次ページを表示します。
-  **前のイメージ**
画像ファイルと同じディレクトリ内の前のシーケンスにあるファイルを表示します。
-  **次のイメージ**
画像ファイルと同じディレクトリ内の次のシーケンスにあるファイルを表示します。
-  **スライドショーをストップ/スタート**
スライドショーの実行を停止/再開します。
-  **再ロード**
画像ファイルを再読み込みして表示します。
-  **ズームアウト**
画像ファイルを縮小表示します。
-  **実物サイズの表示**
画像ファイルを保存されている状態と同じサイズで表示します。

-  **ズームイン**
画像ファイルを拡大表示します。
-  **印刷**
表示中の画像ファイルを印刷します。
-  **デスクトップ壁紙**
表示中の画像ファイルをデスクトップの壁紙に設定します。
-  **複写**
表示の画像ファイルのコピーを作成します。
-  **移動**
表示中の画像ファイルを指定のディレクトリに移動します。
-  **削除**
表示中の画像ファイルをゴミ箱に移動します。
-  **名前変更**
表示中の画像ファイルの名前を変更します。
-  **プロパティ**
イメージのプロパティを表示します。
-  **オプション**
ウィンドウの表示設定やスライドショーの設定、ファイルメニューコマンドの設定ファイルタイプの関連付け等の各種設定を行います。

画像補正ウィンドウ



保存

補正内容を保存します。



元に戻す

処理を無効にします。



やり直し

無効にした処理を有効にします。



スクロール

イメージをスクロールします。



切り取り

イメージの一部を選択します。



ズームアウト

イメージを縮小表示します。



ズームイン

イメージをを拡大表示します。



サイズの変更

イメージのサイズを変更します。



回転

イメージを回転します。



反転

イメージを反転します。



カラーバランス

色相や彩度、明るさを設定します。

**レベル**

コントラストやガンマ調整、白 / 黒色点の調整を行います。

**自動レベル**

コントラストやガンマ、白 / 黒色点の調整を自動的にを行います。

**ソフトフォーカス**

イメージにぼかし効果を設定します。

**シャープ**

イメージのコントラスト値をあげてシャープにします。

**ノイズ除去**

イメージ中のノイズを除去します。

**セピア**

イメージをセピア色に変換します。

**カラー**

イメージの色相や彩度のトーンを調整します。

**ネガ**

イメージをネガ変換します。

**エンボス**

イメージにエンボス効果を設定します。

ショートカット

ブラウズモード

キー	機能
0	拡張子順に整列
1	名前順に整列
2	サイズ順に整列
3	タイプ順に整列
4	日付順に整列
5	イメージの大きさ順に整列
6	説明順に整列
*	選択されたフォルダのサブフォルダを展開
+	昇順に整列
-	降順に整列
Alt +	選択された JPEG イメージを 90 度左回りに回転
Alt +	選択された JPEG イメージを 90 度右回りに回転
Alt +	選択された JPEG イメージを 180 度左回りに回転
Alt +	選択された JPEG イメージを 180 度右回りに回転
Alt + A	TWAIN ソースからイメージの取込み
Alt + C	他のフォルダにファイルをコピー

Alt + K	デジタルカメラから画像を取得
Alt + M	他のフォルダにファイルを移動
Alt + R	名前の変更
Alt + Shift + A	TWAINソースを選択し取込み設定をカスタマイズ
Alt + Shift + K	デジタルカメラの設定
Alt + W	オリジナルデスクトップに戻す
Alt + X	終了
backspace	上のフォルダに移動
Ctrl	<Space> キーを押すか、左クリックで複数ファイルの選択
Ctrl + "+"	詳細表示で列のサイズを自動的に調整
Ctrl + 2	詳細表示でサイズの表示を切替
Ctrl + 3	詳細表示でタイプの表示を切替
Ctrl + 4	詳細表示で日付の表示を切替
Ctrl + 5	詳細表示でイメージの大きさの表示を切替
Ctrl + 6	詳細表示で説明の表示を切替
Ctrl + A	全てのファイルを選択
Ctrl + C	クリップボードへコピー
Ctrl + D	説明の入力
Ctrl + DEL	削除確認なしで削除
Ctrl + E	シェルで編集

Ctrl + F	他のフォーマットにイメージを変換
Ctrl + G	ASCII ファイルリスト生成
Ctrl + H	隠しファイルの表示 / 非表示
Ctrl + I	イメージファイルのみ表示の切替
Ctrl + K	デジタルカメラ参照
Ctrl + L	シェルで開く
Ctrl + O	オプション
Ctrl + P	イメージファイルの印刷
Ctrl + R	JPEG イメージの回転
Ctrl + S	スライドショウ
Ctrl + Shift +	プレビュー位置を左側へ設定
Ctrl + Shift +	プレビュー位置を右側へ設定
Ctrl + Shift +	プレビュー位置を下へ設定
Ctrl + Shift + A	全てのファイルとフォルダの選択
Ctrl + Shift + B	ステータスバーの表示を切替
Ctrl + Shift + C	イメージデータをクリップボードにコピー
Ctrl + Shift + D	現行フォルダのパスボックスの表示を切替
Ctrl + Shift + E	編集するアプリケーションを指定
Ctrl + Shift + F	フォルダツリーの表示を切替
Ctrl + Shift + K	デジタルカメラからファイルを全て転送

Ctrl + Shift + L	開くアプリケーションを指定
Ctrl + Shift + M	メニューバーの表示を切替
Ctrl + Shift + P	プレビューの表示を切替
Ctrl + Shift + Q	ショートカットの表示を切替
Ctrl + Shift + S	スライドショウ反復
Ctrl + Shift + T	ツールバーの表示を切替
Ctrl + Shift + V	選択されたイメージをプレビュー
Ctrl + Shift + W	並列表示
Ctrl + T	更新日付の変更
Ctrl + V	現行フォルダにクリップボードの内容を貼付け
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼付け
Ctrl + W	デスクトップの壁紙設定
Ctrl + X	選択されたものを切り取り、クリップボードにコピー
DEL	削除
Enter	ファイルリストで選択ファイルを表示
Enter	パスボックスで指定フォルダのブラウズ
Enter	お気に入りリストで選択されたショートカットを開く
Enter + Shift	ファイルリストで新規ウィンドウを開く

Esc	サムネールの生成を停止、イメージヘッダ情報読み込みの停止
Esc	パスボックスでファイルリストにフォーカスを戻す
F1	ヘルプの表示
F2	名前変更
F3	イメージの検索
F4	最後に使用したフォルダリストを開く
F5	ファイルリストを再生
F6	お気に入りのドロップダウンリストにアクセス
F8 - F12	サムネール、大きいアイコン、小さいアイコン、リスト表示、詳細表示に変更
Pause	サムネール生成の続行、イメージヘッダ情報読み込みの続行
Shift + DEL	ごみ箱を使用しないで削除
Shift + Esc	ウィンドウを最小化
Shift + F5	クイック表示
Tab	パスボックス / フォルダツリー / ファイルリスト / お気に入りリストの間で移動

ビューモード

キーボードショートカット

キー	機能
*	ウィンドウやスクリーンに合わせてズーム
-	ズームアウト
/	実物サイズ
=	ズームイン
	イメージをスクロール
Alt +	選択された JPEG イメージを 90 度左回りに回転
Alt +	選択された JPEG イメージを 180 度右回りに回転
Alt +	選択された JPEG イメージを 90 度右回りに回転
Alt +	選択された JPEG イメージを 180 度左回りに回転
Alt + C	複写
Alt + M	移動
Alt + P	ウィンドウの位置を保存
Alt + S	スライドショーの停止 / 再開
Alt + X	終了
B	ステータスバーの一時的表示切替

BackSpace	スライドショーシーケンスの前を表示
Ctrl + DEL	削除確認なしで削除
Ctrl +	速くスクロール
Ctrl + B	現行イメージをビューウィンドウの背景に並列に表示
Ctrl + C	現行イメージをクリップボードにコピー
Ctrl + D	説明の入力
Ctrl + E	シェルで編集
Ctrl + F	フルスクリーンモードの切替
Ctrl + L	シェルで開く
Ctrl + Num+	自動的に拡大切替
Ctrl + Num-	自動的に縮小切替
Ctrl + Num/	ズームロック切替
Ctrl + O	オプション
Ctrl + P	印刷
Ctrl + Q	イメージシーケンスから現行イメージを削除
Ctrl + R	JPEG イメージの回転
Ctrl + S	イメージの保存
Ctrl + Shift + B	ステータスバーの表示切替
Ctrl + Shift + E	編集するアプリケーションを設定
Ctrl + Shift + L	開くアプリケーションを設定

Ctrl + Shift + M	メニューバーの表示切替
Ctrl + Shift + P	全てのイメージを印刷
Ctrl + Shift + Q	イメージシーケンスから全てのイメージを削除
Ctrl + Shift + S	イメージシーケンスの保存
Ctrl + Shift + T	ツールバーの表示切替
Ctrl + Shift + W	並列に壁紙を設定
Ctrl + T	更新日時の変更
Ctrl + V	イメージの貼付け
Ctrl + W	選択されたイメージをデスクトップ壁紙に設定
Ctrl + Z	ズーム領域の選択
DEL	削除
End	イメージシーケンスの最後のイメージを表示
Enter	ブラウザに切替、現行イメージを選択
Esc	現行イメージを選択せずにブラウザに戻るあるいは終了
F1	ヘルプ表示
F2	名前変更
F5	再ロード
Home	イメージシーケンスの最初のイメージを表示
Insert	イメージシーケンスにイメージを追加
M	メニューバーの一時的表示切替

Num*	ウィンドウやスクリーンに合わせてズーム
Num+	ズームイン
Num-	ズームアウト
Num/	実物サイズ
P	ステータスバーにイメージファイルのフルパスを一時的に表示
PageDown	イメージシーケンスの次のイメージを表示
PageUp	イメージシーケンスの前のイメージを表示
Pause	スライドショーの停止 / 再開
Shift + DEL	ゴミ箱を使用しないで削除
Shift +	遅くスクロール
Shift + End	複数ページの最後のイメージを表示
Shift + Esc	ウィンドウの最小化
Shift + Home	複数ページの最初のイメージを表示
Shift + PageDown	複数ページの次のイメージを表示
Shift + PageUp	複数ページの前のイメージを表示
Space	スライドショーシーケンスの次を表示
T	ツールバーの一時的表示切替

マウスショートカット

マウス操作	機能
ボタンでドラッグ	ドラッグする方向にイメージを表示
<Shift> + 左ボタンでドラッグ	領域を選択
左ボタンでダブルクリック	ブラウザモードに切替
右ボタンでクリック	コンテキストメニューの表示
左 + 右ボタンでクリック	フルスクリーンモードの切替
中ボタンでクリック	フルスクリーンモードの切替
ホイールでクリック	フルスクリーンモードの切替
ホイールを上方向にまわす	イメージシーケンスの前のイメージを表示
ホイールを下方向にまわす	イメージシーケンスの次のイメージを表示
<Shift> + ホイールを上方向にまわす	複数ページイメージの前のページを表示
<Shift> + ホイールを下方向にまわす	複数ページイメージの次のページを表示
<Ctrl> + ホイールを上方向にまわす	ズームイン
<Ctrl> + ホイールを下方向にまわす	ズームアウト

新潟キヤノテック株式会社

〒950-0916 新潟市米山1丁目24番地 新潟駅南センタービル

ユーザーサポートセンター

TEL : 025-244-6445 FAX : 025-244-8561

電話受付時間 月曜～金曜（当社休業日・祝祭日は除く）

10:00～12:00 13:00～17:00